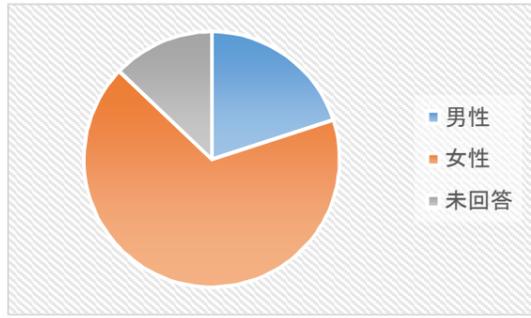


第13回島根県ケアマネジャー研究大会in出雲 市民公開講座 11月15日アンケート集計

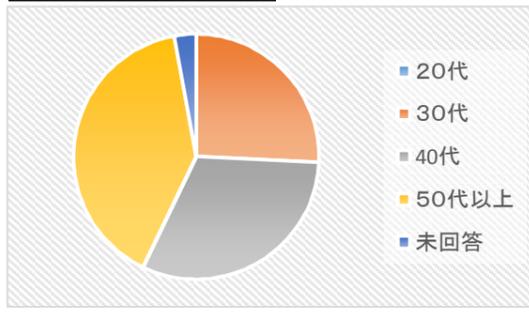
Q1 性別は？

	人数
男性	14
女性	47
未回答	9



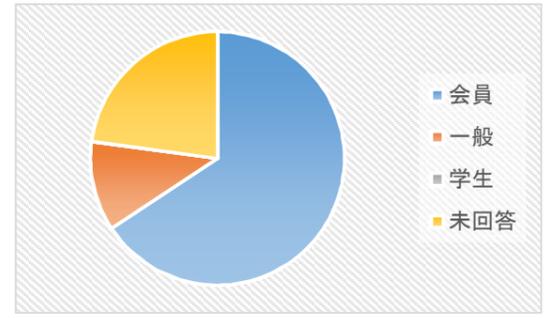
Q2 年齢は？

	人数
20代	0
30代	18
40代	22
50代以上	28
未回答	2



Q3 区分は？

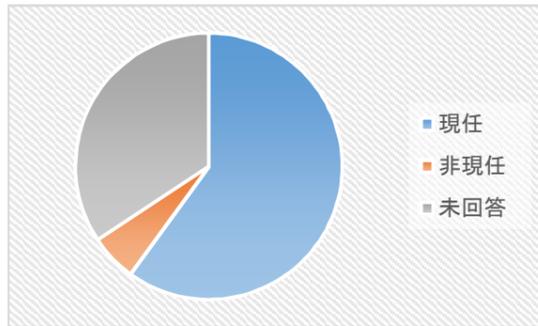
	人数
会員	46
一般	8
学生	0
未回答	16



※ケアマネジャーの方にお聞きます

Q1 活動状況は？

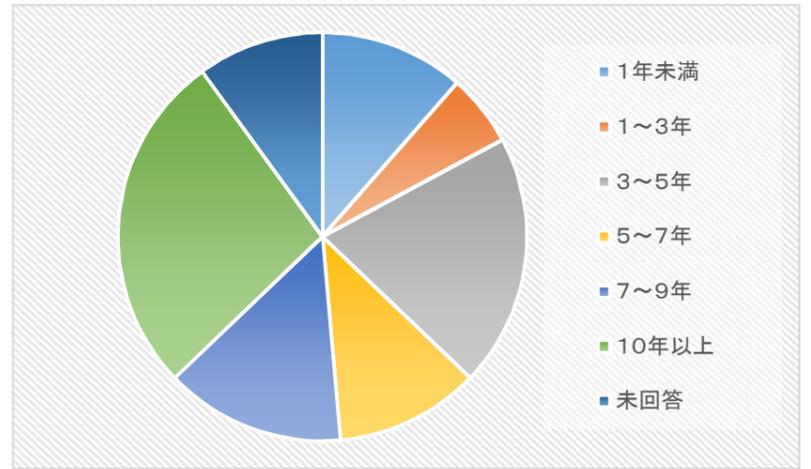
	人数
現任	42
非現任	4
未回答	24



※ケアマネジャーの方にお聞きます

Q2 ケアマネ歴は？

	人数
1年未満	8
1～3年	4
3～5年	14
5～7年	8
7～9年	10
10年以上	19
未回答	7



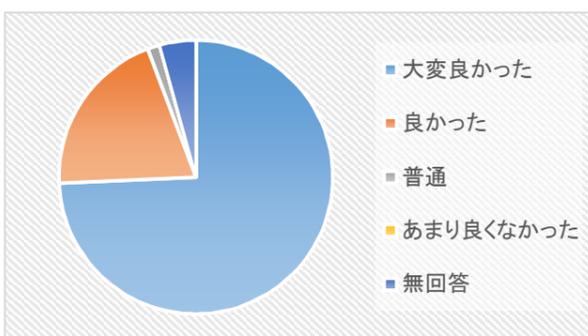
Q4 一般参加者の方にお聞きます

ご自宅や、介護施設でケアマネとの付き合いはありますか？また、ケアマネにどんなことを期待されますか？

- ・ 親族が平田の●●●で介護してもらっています。●●●のケアマネに交代してから毎月支払いが増えてヘルパーの利用料が支払われなくなりました。確認するとケアマネが本人の印鑑を勝手に押してヘルパーへ依頼をしていました。失禁もないのにケアマネは尿でぬれるので毎日夜中にヘルパーがいると言ってお金を取っていました。利用者をだますケアマネに驚きました。TVの世界とと思っていましたが、出雲の施設でも行われており、ケアマネに対する厳罰を望みます。その際にケアマネ協会の方に相談できると心強いです。
- ・ 施設に入居している叔母の面倒を見ていますが、ケアマネにはいろいろな面で大変良くしてもらっている。私としてはとても頼れる存在です
- ・ 母親が介護施設に入所しているが費用が高い、しかし、そのような事をケアマネさんに相談して良いかと思う

Q5 市民公開講座「地域包括ケアと医療と介護の連携について」はいかがでしたでしょうか？

	人数
大変良かった	52
良かった	14
普通	1
あまり良くなかった	0
無回答	3



【ご意見・ご感想】

- ・ 現在の状況をデータを基にお話しいただきとても参考になった
- ・ 医療面からの視点での見解を説明して下さり、大変参考になった
- ・ 先生の医療を守ろうと思われた経過を知り、私も見方が変わりました
- ・ 西区の活動を知ることが出来て参考になった
- ・ 事例を通して、いろいろな話が聞けて良かったです
- ・ 医療と介護の理想モデルを聞かせてもらった気がします
- ・ とても分かりやすかったです
- ・ 医療保険、介護保険、両者の説明があり、おさらいにもなったし、ICT利用の共有が今後の課題と思えた
- ・ 大変参考になりました。ありがとうございます
- ・ 分かりやすく納得できることが多くありました。地域とのつながりをもっと考える必要を感じました
- ・ Drの熱い思いが伝わった。医療と福祉がうまく支援網がくめるよう努力していきたい
- ・ カンファレンスのやり方を知りたい。目標設定:何を治すのか決めてする困難
- ・ 何もって仕事をしているのかを改めて考えさせられた。その人らしさとは誰が何を持ってるのか？根拠は？ケアマネジャーの質を高めたい
- ・ 以前電話で確認した際に、広島県の災害時に尽力された方と聞き友達を誘って来ました。とても良いお話でした

- ・ 現場で実践していることを交えて、分かりやすく話をいただきました。今後の地域包括ケアに向けて、とても参考になりました。カンファレンスの重要性、進行の仕方等、改めて考えさせられました。ありがとうございました
- ・ 先を見据えた話であり、分かりやすかったです。新しい内容であり、我々が行わなければならない事がよく理解できました。とてもやる気になりました
- ・ 地域包括ケア、医療と介護の連携についての講義は、これまでも受けてきましたが、非常に分かりやすく大変良かったです
- ・ 「CMがあって当たり前の世代になっている」この言葉の裏に重みを感じます。「当たり前」に対して失礼のない行動をCMは行わなければならない
- ・ 先生もよいケアマネと悪いケアマネがいる事を分かっておられたのには納得しました。悪事を働く介護職員を減らし、信頼できるケアマネを増やして欲しい。うちのケアマネはケアプランにも家族の希望1つ書いてありません。お話とのギャップが大きすぎてただただ驚いています
- ・ 先々を考えていく事の大切さが分かりました。時間を守って講演して欲しい(最後の方は急いでいた内容が伝わらない)
- ・ 落久保先生のお話を初めて聞かせていただき、その取り組まれてこられた内容に感激しました。私も頑張らなければいけない!!と思いました。ありがとうございました
- ・ データを基に根拠を示し分かりやすくお話しいただきました。もっと聞きたくなる講演で、大変勉強になりました。また先生の経験談を聞き、自分にとって改めて考えさせられるような貴重な機会となりました。明日からの日々の仕事に戻りますが、また頑張ろうと言う気持ちになります

- ・先生の経験等をパワーポイントで交えてあり勉強になりました。ありがとうございました！医療との連携についても今以上に考えていかなければいけないと思いました
- ・医療、介護もどちらも理解されている先生のお話だったので、つながり、連携について分かりやすく、気持ちがすっきりしました
- ・医療サイドの地域包括ケアについても非常に分かりやすく聞かせていただきました。又、その中でケアマネのすべき事を改めて振り返ることが出来ました
- ・今後、更に在宅での医療が求められるため、ケアマネとの関わりを再確認し、しっかり繋げていきたい
- ・地域包括ケアシステムの構築にあたり、ケアマネとして何をすべきか、利用者、医療職とどう関わって行くのか、自分の地域の現状にあわせて考えていかなければと感じました
- ・西区の連携システムの体制、とても勉強になりました。カンファレンスの大切さ、改めて感じました。アナログの連携シート、ノートの大切さも感じました
- ・サービス事業所や医師との情報交換が大切だし、誰か包括ケアシステムを考えてくれるのを待つのではなく、自分自身の考えを持たなくてはいけないと思った
- ・大変、大変勉強になりました。理解ある医師と一緒に進めていきたいです。アナログノート(島根でも使いたい)とICTシステム両輪ですね
- ・自分たちの地域でケアマネジャーが中心になって包括ケア構築のための基礎や情報を集めていくのが重要と思いました。協力して下さるHPの開拓も必要だと思った
- ・自分の人生や経験を、実務に活かし、個 → 地域へ大きく還元して、地域の町づくりに向かっていることが凄いです。感動です。自分も続けていきたいです
- ・身近な事、分かりやすい話でした。西区のような取り組みが出来たらどんなにいいかと思いました。松江でも聞いて、とてもよかったので今回も聞いて良かったです。ケアマネの心構えも必要だなと感じています。これからの地域包括ケアにとって医療と介護の連携は不可欠です、これが、これからやって行かないといけないことだと思いました。ケアマネ大変だけど、頑張らなくっちゃというお話でした。ありがとうございました。とても良かったです
- ・実体験等を通しての話もあり、とても理解、共感しやすかった。専門職どうしがもっと近寄って行かなければならないのだと感じました
- ・先生の経験を交えながらの講演でもあり、実際されている事、国がどの様に法改正されているのかもわかりやすかったです
- ・ケアマネジャーは災害に強いと言うことがよく分かりました。Drが中心にカンファレンスができる事は顔の見える関係づくりができ、良い事だと思います。私たちの地域でもしたいと思います。どうしたらできるのでしょうか？
- ・友達に誘われて参加したのですが、良かったです。一般の人はどれくらい参加されているのでしょうか？せっかくの良い話、PRをもっとしてください

Q6 老後のことで心配なことがありますか？

- ・財政面
- ・持ち家がなく、老後の住まいが心配。自由な施設を作りたい、入りたい
- ・買い物など車が運転できなくなった時に外出の手段がない事
- ・どんな病気になるか？どこでどんな死に方をするか？
- ・ケアマネやヘルパーが悪事を働いても容易に罰せられない事です。計画書のサイン・捺印もケアマネが勝手に自分でしていた場合も記録に本人が書いたとあるとそれでよいことが分かりました。島根県内にも●●●の様な所が増えるのが心配です。担当者会議も全くやらないケアマネが今も仕事をしています
- ・お金(年金)。見てくれる人や家族の形がどの様になっているか？
- ・在宅で往診が受けられない事
- ・認知症に自分がなった時の地域との関わりが不安です。介護サービスを受けられるようになった時の経済面にも不安があります
- ・年金が少なく、生活支援をもらえるか心配
- ・自宅での生活の継続が可能か(いつまで、どの状態まで)
- ・介護保険制度の行くすえ
- ・年金が十分もらえるかどうか？要介護状態になった時に十分なサービスを受けられるかどうか心配である
- ・自治会で65才～90代25名、40才～64才5名、40才未満～20才以上10名、5年、10年後どんな自治会で、私はどうしているのでしょうか？まずは元気で養生
- ・お金、孤独 → 誰が自分を見てくれるのか
- ・今の年金で施設に入れるか？生活して行けるのかと心配です
- ・サービスが少ない事
- ・自分が老後を迎える時、住み慣れた場所で住みつづけるシステムができていないか？(作っていかねばいけないのか?)
- ・色々ありますが、まずはそれを現在の立場と職種を活用し、ひとつでも形にして、安心な町づくりをしたいです
- ・健康寿命 = 元気で過ごせる、元気が過ぎる事を考えています
- ・病気にならない。介護保険認定は受けないように考える
- ・経済的な事。年をとっても体を動かすことが続けてできる為には、今は何をしたらよいか
- ・金銭的な事
- ・老老介護について
- ・母親の施設の費用を考えると、自分の時は支払いができるか心配である
- ・人口減少に伴い、自治会、地域が弱体化し、歯止めがきかないのでは？住み替えが前提にあり、さみしい気持ちがする。選べるサービスも少ないのでは？

Q7 今後島根県介護支援専門員協会にどのような公開講座や研修会等を望まれますか？

- ・介護の医療の連携についての説明会
- ・市民公開講座が始まる前に(外部から先生をお招きしているのに)思いつきのように業者さん、1事業所のみ前に出て商品の紹介はどうかと思いました。その為皆さん後ろに座らざるを得ないのに、終わったら全員前に出るようになってどうなのでしょう？玄関入口で前に座るよう促したり、数分おきにアナウンスで前に促したり、後ろのブースで紹介があるなど失礼のない対応がよろしいかと思いました
- ・中重度高齢者、認知症高齢者に対するケアマネジメント、チームアプローチ
- ・緑風園の菊池施設長の講演を聞いてみたいです。時間配分にゆとりがあったらいいです
- ・公開講座は一般市民に分かりやすい「包括ケアシステムの考え方」を伝える場であると良い
- ・ケアマネジャーの方へ人間性についての研修や悪事を働かないような取り組みをしている事を社会へ知らせてください。また、悪事を働くケアマネはどう対処しているのか県民に知らせてください
- ・Drの在宅支援に対する思いを感じ、感動した。ケアマネ、ヘルパー何より患者、家族に対する感謝の気持ちが伝わり、Drといってもケアマネと同じ思いで働いているのだと思うと心強かった
- ・ケアマネに関わる分野であればどんな情報や知識も得たいと思っています。個人的には医療面に関する内容が気になっています
- ・施設ケアマネの在り方や、施設内での働きかけなど、施設を対象とした研修や意見交換ができる場を希望します
- ・制度改正に伴い、ケアマネジャーが具体的にどんなふうに関わって行ったらよいかを講演して欲しい
- ・医療側だけでなく、介護側からの研修会も考えて欲しい
- ・今回の講座のように実際に行われている様子(事例)を聞きたいです
- ・今回の様に明日からでも参考になる研修
- ・ケアマネジャーのスキルアップ研修がもっと多くあっても良いと思う
- ・今日の資料はとても見にくかった(字も小さい、色付けも分からない)その分講師の話に集中できたこともありました
- ・地域密着型のCM研修